

田中三津彦議員



● えちぜん鉄道による勝山観光の推進について
● 防災体制の強化について

そのほかの質問

- ・市が運営する施設の使用時間について
- ・市の産品、商品等の販路拡大について

一般質問

問 昨年度、勝山駅利用者は過去最多になり、今年度も増加しているという。JR、えちぜん鉄道、旅行業者等と協力し、恐竜博物館入館とえちぜん鉄道、乗継バスのセット券に勝山での昼食や宿泊を加えたツアーの開発、JR福井駅とその周辺でのPR強化、えちぜん鉄道延伸の検討等、えちぜん鉄道による勝山観光をもっと推進してはどうか。

答 セット券に宿泊や市内での昼食を加えた商品について勝山市観光まちづくり株式会社と協議し、商品化と販売について呼びかけたい。また、更なる観光客増加が予想されることから、他市町などとも協力してJR福井駅構内での掲示物の設置について、JR福井駅と協議していく。

延伸の可能性については、福井県、えちぜん鉄道、沿線自治体との協議が必要。現段階では協議する熟度に至っていないと考える。

問 ①過去の質問で提案した自衛隊関係者の専門的知見の活用、成果積み上げ方式による防災訓練、ジオアリーナでの訓練等について、その検討状況を問う。

②市の防災対策本部の充実とための自衛隊研修、指定避難所等の安全性確保、強化を提案する。

答 ①今年度予定の防災会議へ陸上自衛隊第14普通科連隊第3中隊長に参画いただけるよう調整していく。また、成果積み上げ方式による防災訓練について、来年度の総合防災訓練の内容を検討する過程で、実施できないか検討する。

ジオアリーナは勝山市の防災計画上、福祉避難所と支援物資の集積配送拠点と位置づけている。来年度の総合防災訓練では、これらの位置づけを確認できる訓練を企画していく。

②自衛隊の作戦本部で研修することは我々にとっても非常に有意義であると考えているため、研修について調整していく。

指定避難所の中には土砂災害警戒区域や九頭竜川の浸水想定区域の中にあるものもあるが、避難所に災害が及ばないようにする工事は、県が事業主体となるため、優先して対策工事を行うよう要請していく。

松山信裕議員



● まちづくりについて
● 自主財源確保、資金調達について
● 霊峰白山、白山平泉寺開山1300年記念事業について

※ガバメントクラウドファンディング…自治体がプロジェクトオーナーとなって行う寄附型のクラウドファンディングで、すべての寄附がふるさと納税の対象となる。

一般質問

問 地元の特産品やゆかりにちなんだ日付を記念日にする「ご当地記念日」を制定し、「恐竜の日」「おろしそばの日」「平泉寺の日」など勝山独自の観光資源にちなんだ日付を記念日に登録し、勝山市の魅力在全国に広くPRしてはどうか。

答 ご当地記念日を登録することは、有効な手段の一つと考える。一方、記念日のテーマとして、何を対象とするかについて、幅広い議論が必要と考える。また、5年ごとに記念日登録の継続意思を確認するとしており、PR活動が十分ではないと判断された場合は登録抹消もありうるため、記念日を盛り上げるイベントの開催など、継続的なPR手法についてあわせて検討していく必要がある。

今後、テーマの選定や登録の時期、効果的な活用方法など、対応を検討したい。

問 個別事業、プロジェクトに積極的に取り組むべきと考え、自主財源確保の新たな手法として、ふるさと納税制度を活用した※ガバメントクラウドファンディングを新たな財源確保の仕組みとしてさらに活用すべき。

答 ホワイトザウルス復元のため、初めて、ガバメントクラウドファンディングを導入することとした。他自治体のプロジェクトの状況などについて研究を進めながら、寄附者にとって魅力的なプロジェクトとなり得る事業については、財源確保の有効な手段としてガバメントクラウドファンディングを積極的に活用していきたい。

問 歴史や文化、風土といった貴重な財産を次代につなぐという思いと、今後の魅力ある平泉寺、勝山市の発信、観光誘客の推進など市全体のものとした記念行事の計画を進めるべき。

答 勝山市としても関係団体にお諮りし、実行委員会を組織して各種記念事業の開催を検討している。来年の1月から1年間、あるいは2年間を、「白山平泉寺開山1300年」の期間として位置付け、1300年の特別なおもてなしについて検討している。